



うち

どく

美里中学校区教育を考える会
紀美野町立美里中学校・育友会

R2.1.20
発行

家読のススメ NO.6



『家読強化週間』への協力ありがとうございました！

今年度最後の第3回家読強化週間（12/25～1/7）が終わりました。年末年始をはさみ、保護者の方には大掃除や新年を迎える準備、年始の挨拶等でお忙しかったことと存じます。そんな中、今回も家読（家族ふれあい読書）にご協力いただきありがとうございました。今回も、できるだけたくさんの方の感想を掲載させていただきます。



第3回家読強化週間で読まれた本 & 感想

家読で読んだ本の題名
未来のだるまちゃんへ
作者 かこさとし
出版社 文春文庫



読んだ人 自分
読み終わった日 1/7
好きな登場人物
あんちゃん
感想 筆者の小さい頃からの経験などの人生がよく伝わってきた。親子でも、親は先回りして子供の心を読み取ったように思っているけれどそれは大抵早合点だったり、見当違いで、かえて子供につらい思いをさせていることも多い。

読んだ人 母 読み終わった日 1/7
好きな登場人物 あんちゃん
感想 もちろん筆者のかこさとしさんの子供の頃から外遊び 自然大好き 工夫大好き少年からのエピソードに魅力があるが、小学校時代に長屋で近くで暮らしていたあんちゃんは、年上でも偉ぶらず「ああしろ」「こうしろ」指図したりしなかった。好きにしるって態度でほったらかされているのかと言えばそうでもなく、ちゃんと周りを気遣い一人一人の子に気配りしてくれている。そんなあんちゃんに私も会ってみたい。かこさとしさんの子供への思い、平和への強い思いを感じた一冊だった。

家読で読んだ本の題名
コードブルー
作者 林 宏司
出版社 扶桑社文庫

読んだ人 自分
好きな登場人物 藤川
感想 人を救助するところがカッコよかったし、人物の一人一人があゆむ人生もよかったです。

読んだ人 母 好きな登場人物 登場人物の5人
感想 5人の医者がお互いを助け合い成長していく姿がよかったです。少し未熟でも仲間と助け合えば大きな力となる事が子供にも伝わればよいと思いました。私自身2年前には、ドクターヘリにお世話になりました。看護師1名と医者1名と私がすごく狭い空間にいました。意識がもうろうとしている中、手当してくれていたのを覚えています。すごい大変な仕事だと思いました。

家読で読んだ本の題名
ココラインと
ボタンの魔女
作者 ニル・ゲイマツ
出版社 角川書店

読んだ人 自分
好きな登場人物 ココライン
感想 引っ越してきた家に小さい扉があったらココラインよりももっと騒いでいると思う。ママとパパの目がボタンだったらいややなあと思いました。

読んだ人 母
好きな登場人物 黒ねこ
感想 映画も見ましたが、本の方が不気味でした。つんとした黒ねこのキャラが好きです。



家読で読んだ本の題名
わたしと小鳥とすずと
作者 金子みすゞ
出版社 JULA 出版局



読んだ人 自分
読み終わった日 1/6
好きな登場人物 お魚
感想 牛は小屋で飼われているのに、魚は餌などももらえなくてとてもかわいそうだと思った。

読んだ人 母
読み終わった日 1/6
好きな登場人物 魚
感想 人間の勝手な行動に魚たちは振り回されておりとても気の毒だと思いました。

家読で読んだ本の題名
夜のピクニック
作者 恩田陸
出版社 新潮文庫

読んだ人 自分
感想 1日で80キロ歩く「夜歩祭」はすごいなと思った。特に生徒がすごいと思いました。しかし、足の弱い人や運動の苦手な人は可哀想だなと思いました。友達と仲良く歩くのはいいなとも思いました。子供の創造力ってすごいなと思いました。

読んだ人 母
感想 高校生活最後のイベントで、夜を徹して80kmを歩き通すという行事がすごいなと思いました。歩く中でいろいろな事を整理されたりしていく事や周囲の関わりもあっていろんな関係が理解されていくところが素晴らしいかったです。



家読で読んだ本の題名
そして生活は続く
作者 星野 源
出版社 文春文庫



読んだ人 自分
読み終わった日 1/6
好きな登場人物 星野 源
感想 僕がこの本を読んで、星野源さんのような生き方をしたいと思った。これからは星野源さんのように、楽しく人生を歩んでいきたいと思った。

読んだ人 母
読み終わった日 1/7
好きな登場人物 ようこちゃん
感想 星野さんはツグ・ツグライターであり、素晴らしい俳優さんだとは思っていましたが、息子がこの本を手取るまでEYEを出されていることは知りませんでした。とてもユニークなお母さま（ようこちゃん）はじめご家族に支えられていたこと、ご苦労が有ながらも、それもすべて前向きに面白可笑しくとらえ、日々普通の人（一般人）と同じように過ごされていることに共感し、たくさんの「ある、ある」の中に、声に出して笑うほどのエピソードもあり、とても楽しませてもらえた一冊でした。

ここからは、生徒だけまたは親子で違う本を読んでいる人たちの感想を紹介します。

家読で読んだ本の題名
また、同じ夢を見ていた
作者 住野よる
出版社 双葉文庫

読んだ人 私
読み終わった日 1/6
感想 この本を読むのは2回目ですが、2回読んでこの話がかもって好きになりました。登場人物同士の会話がおもしろく、不思議な世界観で、引き込まれました。小学生の奈ノ花が「幸せとは何か」という難題に取り組んでいく物語で、奈ノ花の力強さや素直さが伝わってきました。時々私も「幸せ」について考えてみようかなあと思いました。



家読で読んだ本の題名
謎解きはディナーのあとで
作者 東川 篤哉
出版社 小学館文庫

読んだ人 兄
好きな登場人物 影山
感想 財閥の一人娘 宝生麗子の目線で書かれているが、その麗子を唯一馬鹿にした言動をする執事 影山、そして勘違いも甚だしい麗子の上司である風祭警部の目線がとところどころ入っており、その掛け合いが非常に面白い。

家読で読んだ本の題名
生きてさえいれば
作者 小坂 流加
出版社 文芸社文庫 NEO



家読で読んだ本の題名
グランメゾン東京・上
作者 黒岩 勉
出版社 角川文庫

読んだ人 自分
読み終わった日 1/3
好きな登場人物 尾花夏樹
感想 尾花夏樹はパリのレストランで事件をおかし、料理界からは消えたと思われた。しかし日本に来て、早見倫子シェフと3ツ星を狙う。

読んだ人 私
読み終わった日 12/27
好きな登場人物 秋葉
感想 千景というまだ小さい子供が秋葉と春桜をつなぐために一人で東京から大阪まで行くのがすごいと思う。

先生達も読書をしています。先生達の感想も紹介します。

家読で読んだ本の題名
ランチタイムの経済学
作者 スティーヴン ランズバーク
出版社 日系ビジネス文庫

読んだ人 先生
読み終わった日 1/3
好きな登場人物 ランズバーク氏（著書）
感想 経済学はなぜ難しいのか。エコノミストの言うことは、なぜわかりにくいのか。本書では、日常的な問題から、エコノミストによる議論が続いている難解な問題でも、経済学の知見をもとに記述されている。（副題に「日常生活の謎をやさしく解き明かす」とあるが、非常に難しい）。本書は著者が他の経済学者との議論を踏まえて書かれているため、他の経済学の書籍に比べると読みやすいかもしれない。中学生には難しいと思うが、大人にはぜひ読んでもらいたい本である。

家読で読んだ本の題名
僕は、死なない
作者 刀根 健
出版社 SBクリエイティブ

読んだ人 先生
読み終わった日
好きな登場人物 刀根 健
感想 全身末期がんになった人が完治するまでの実話。ステージ4Bのがんと知らされてからの闘病生活はすさまじい。がんとどのように向き合うかを述べている。また、何事もなく普通に生きているという素晴らしさ、幸の在り方を改めて知ることができた。



お忙しい中、『家読（家族ふれあい読書）』にご協力いただき、ありがとうございました。今号が、今年度の「家読のススメ」の最終号になります。『家読（家族ふれあい読書）』活動の周知と入庫本の紹介、読書の感想を中心に「家読のススメ」を発行してきました。中学生になり、塾や宿題、SNS等で家族との交流が減りがちになる中、この活動を通して家族の会話が増えたり、「読書」をするきっかけ（保護者の方も）になっていればと思います。

来年度も、『家読（家族ふれあい読書）』の取組は続けていきたいと考えています。ぜひ、読書を通して家族間のコミュニケーションをより深め、読書体験を他者と共有しながら、人とつながる喜びや読書の楽しさを広げていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。